

令和4年度 入学試験問題

小論文（芸術・スポーツ文化学科スポーツ文化専攻アウトドア・ライフコース）
一般選抜（前期日程） 解答例および出題の意図

問1 解答例

日本でボトル入りの水の消費量が大きく伸びたのは1997年です。1996年の一人当たり年間消費量は5リットルでしたが、2006年には18.4リットルに急速に伸びました。その消費者は若い人に多いことを考えると、消費量はもっと伸びると思われます。世界でもっともボトル入りの水の消費量が多いのはアメリカですが、かつては日本と同じように水道水に対する信頼は高かったのです。しかし、2003年には飲料品のなかでボトル入りの水は2位の売り上げとなりました。しかもA社、B社、C社の3社だけでボトル入り水市場の50%を占めています。皮肉なことに、消費者の自然志向やダイエット志向が、これら大手企業を取組に拍車をかけました。これらの飲用水企業は、米国での成功を、成長するアジア市場でも再現しようとしています。世界では清潔な水の入手が困難な人びとが11億人いると言われています。ボトル入りの水は、こうした国々のごく一部の富裕層にしか、水問題の解決をもたらしません。しかもB社は、インドのケララ州パンチャダヤに6つ以上の井戸を掘削し何百万リットルもの地下水をくみ上げたため、住民の生活用水や農業用水用の260もの井戸が枯渇してしまっただけでなく、それによって米の収穫量が10%減りました。さらにB社が流した廃水により地下水が汚染され、住民の訴えをうけて、州政府はついにB社の地下水くみ上げを禁じました。

問2 出題の意図

提示された文章をもとに考察し、自らの意見を論理的に記述する力を問うものである。また環境保全に関する思考力を問い、それを表現する力をはかることとする。